

みずほCustomer Desk Report 2018/09/13 号 (As of 2018/09/12)

国際為替部 為替営業第二チーム

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.58
TKY 9:00AM	111.63	1.1595	129.41	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	111.65	1.1650	129.81	1.3017	0.7110
SYD-NY Low	111.12	1.1570	128.94	1.3083	0.7182
NY 5:00 PM	111.25	1.1627	129.35	1.2980	0.7093
				1.3048	0.7172
NY DOW	25,998.92	27.86	日本2年債	-0.1100	0.00bp
NASDAQ	7,954.23	▲ 18.24	日本10年債	0.1000	▲ 1.00bp
S&P	2,888.92	1.03	米国2年債	2.7502	0.43bp
日経平均	22,604.61	▲ 60.08	米国5年債	2.8612	▲ 0.85bp
TOPIX	1,691.32	▲ 7.59	米国10年債	2.9636	▲ 1.66bp
シカゴ日経先物	22,650.00	▲ 65.00	独10年債	0.4075	▲ 2.05bp
ロンドンFT	7,313.36	39.82	英10年債	1.4800	▲ 1.75bp
DAX	12,032.30	62.03	豪10年債	2.5855	0.50bp
ハンセン指数	26,345.04	▲ 77.51	USDJPY 1M Vol	6.55	▲ 0.10%
上海総合	2,656.11	▲ 8.69	USDJPY 3M Vol	7.33	▲ 0.05%
NY金	1,210.90	8.70	USDJPY 6M Vol	7.71	▲ 0.10%
WTI	70.37	1.12	USDJPY 1M 25RR	-0.81	Yen Call Over
CRB指数	193.36	1.69	EURJPY 3M Vol	8.98	▲ 0.13%
ドルインデックス	94.80	▲ 0.45	EURJPY 6M Vol	9.17	▲ 0.19%

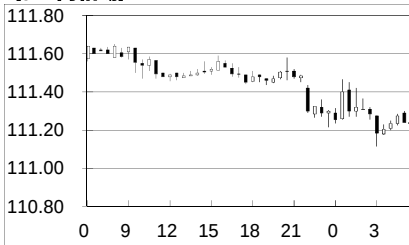
[昨日の指標等]

Date	Time	Event	結果	予想
9月12日	18:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	7月 -0.8%	-0.5%
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	8月 -0.1%/2.8%	0.2%/3.2%
	22:40	セントルイス連銀総裁「現在の金融政策スタンスは既に中立か、いくらか引き締める可能性を示唆」		
9月13日	01:45	米 ブレイナードFRB理事「今後1、2年は漸進的な利上げの継続を予想」		
	03:00	米 米地区連銀経済報告(ページブック)「景気は緩やかに拡大」「通商問題を一因に投入コストは上昇」		

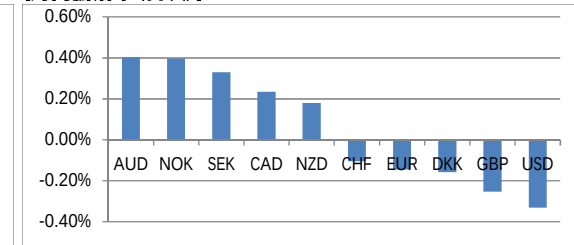
[本日の予定]

Date	Time	Event	予想	前回
9月13日	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	8月 0.1%/2.0%	0.1%/2.0%
	20:00	英 BOE政策金利	- 0.750%	0.750%
	20:00	英 BOE資産購入目標	- £ 435b	£ 435b
	20:45	欧 ECB主要政策金利	- 0.00%/0.25%/-0.40%	0.00%/0.25%/-0.40%
	21:30	欧 ドラギECB総裁会見	-	-
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	8月 0.3%/2.8%	0.2%/2.9%
	21:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	8月 0.2%/2.4%	0.2%/2.4%

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.00-111.70	1.1600-1.1680	129.00-130.00

[マーケットインプレッション]

昨日海外時間のドル円相場は上値の重い展開。この日発表された米PPIが市場予想を下回ったことで、111.29まで下落すると、その後伝えられた、米中貿易摩擦に関する再交渉を米国が提案との報道にドル円も再び上値を試す場面も見られたが限定的。同日に発表されたページブックへの反応も乏しく、終始上値の重さが意識された。本日のドル円相場も、米中貿易交渉に関連したヘッドラインには注意が必要も、方向感を決める材料が特でない中、111円台前半を中心レンジとした動意に乏しい展開が継続しよう。

東京	シドニー時間に111.65を付けたドル円は東京時間を111.63レベルでオープン。同レベル付近にて上値の重い推移が継続した後、仲値通過後は111円台前半まで下落。軟調なアジア株や米貿易交渉への懸念などから111円台前半は近辺での上値の重い展開が継続した。終盤は111.56レベルまで小幅に戻して海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は111.56レベルでオープン。特段の新規材料ない中で、極めて狭いレンジで推移し、111.48レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1593レベルでオープン。欧州時間10時に公表されたユーロ圏7月鉱工業生産指数は市場予想対比下振れたものの、影響は限定的。公表後一時1.1572レベルまで低下したが、1.1580レベルまで戻してNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は狭いレンジでの推移が続き、111.48レベルでNYオープン。朝方は米8月PPIが予想に反しマイナスとなり、ドル円は111.22まで下落する。その後「米国は中国との貿易再交渉を提案している」と複数のメディアが報じたことから、円売りが優勢となり111.46まで戻す。午後に入り「EUが英国に譲歩する為、アイルランド国境問題でBrexitの手続きを書き換え始めている」との報道を受けドル売りが強まり、株式市場がブレイナードFRB理事の「今後1、2年での緩やかな利上げは妥当」との発言もあって反落する展開に円買いが強まり、ドル円は111.12まで下落する。その後はページブックにおいて貿易を巡る懸念から一部企業が投資を抑制していることが明らかになったものの、株式市場が下げ渋る中でドル円は水準をやや戻し、111.25レベルでクロスした。一方、ユーロ圏7月鉱工業生産が予想以上に悪化したものの、狭いレンジでの推移が続いたユーロドルは1.1580レベルでNYオープン。朝方は米PPIの結果を受けたドル売りに1.1624まで戻す。その後も前述の貿易再交渉の報道を受けてユーロ円が急伸する展開に、1.1650まで上伸。その後は、Brexitに関する報道を受けてユーロポンドが急落する展開にユーロドルも1.1617まで下落しながらも、終盤やや戻して1.1627レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:伊藤・森谷